

(2)その他,特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果,世界的位置付け( ISI citation など)など。\* ISI データのない場合は,可能であればいろいろな指標を使って国内的位置づけを示す。

| 分野          | 取組と成果、世界的位置づけ  | 18年度の状況 |
|-------------|--|---------|
| 特筆すべき教育活動   |  |         |
| 特筆すべき研究活動   | <p>トランスレーショナル・リサーチの促進</p> <p>医工学の融合に重点を置いたライフサイエンス分野の研究成果を実際に医療へ活用するため「橋渡し研究支援推進プログラム」に応募し、審査を経て採択された。</p> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>研究課題名</b><br/> <b>医工学連携を基盤としたトランスレーショナル・リサーチ拠点形成 - 未来医工学治療開発センター</b><br/> <b>委託業務期間 平成19年度～平成23年度</b><br/> <b>平成19年度委託費 256,000,000円</b></p> </div> <p>本事業では、全国の大学・企業の医療機器・医療材料のシーズを、効果的に基礎研究から臨床試験まで一貫して支援する医工学基盤のトランスレーショナル・リサーチ (TR) 支援拠点を整備する。</p> <p>当該年度の成果の目標及び業務方法は、次の5項目。</p> <p>臨床試験の管理運営支援の強化、 GMP 基準での試験物製造の支援、 橋渡し研究支援を行なうための人材育成機関の強化・整備、 戦略シーズ開発支援の強化、 橋渡し研究支援 (臨床研究手前まで)。</p> |         |
| 特筆すべき社会貢献活動 | <p>高度救命救急センター</p> <p>平成18年10月に宮城県、仙台市の支援を受け、東病棟1階全域に高度救命救急センター (屋上にヘリポート) が開設した。(県内では本院のみ、東北では本院と岩手医科大学病院の2施設、全国では21施設 19.5.1現在)</p> <p>高度救命救急センターでは、近隣、あるいは付設されている屋上ヘリポートを利用して県内外の広域で発生した救急診療が必要な患者 (主に消防局、地域の医療機関等からの要請) の診療を24時間体制で行なっている。</p> <p>また、 広範囲熱傷 指肢切断 急性薬物中毒 といった特殊疾患患者に対する高度な診療を行なっている。</p> <p>がんセンター</p> <p>本院は平成18年8月に厚生労働省から「がん診療連携拠点病院」に指定され、がん医療の均てん化等に関する業務を行なうため、平成18年11月にがんセンターを設置した。</p> <p>がんセンターは地域医療機関と連携し、がん専門医あるいはがん専門看護師、物理士、薬剤師など医療スタッフの育成を行なっている。</p> <p>地域医療連携センター</p> <p>「適切な医療を提供するために地域医療機関等との密接な連携を推進し、併せて患者及び患者の家族へ退院支援・在宅医療支援の医療サービスを行なう」ことを目的</p>                |         |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>に、平成 16 年 6 月に設置した。</p> <p>本センターでは、紹介患者の受付・相談、total care management としての退院支援、他の医療機関と密接な連携を図り、特定機能病院としての役割をより一層充実させた。</p> <p><b>医師派遣</b></p> <p>本院では、開院以来地域に開かれた診療・教育・研究の場として、地域医療の振興に努めてきた。</p> <p>現在も、地域医療体制の充実強化、医療の向上と健康増進等、社会へ広く多くの活発な事業を展開している。</p> <p>医師を派遣する分野は多岐に亘るが、主なものを 4 点あげる。</p> <p>地域医療への支援と技術水準の向上を目指して、宮城県内をはじめとして東北地方及び近隣各地の医療機関に医師を派遣している。</p> <p>国の審議会や地方公共団体の協議会、委員会等に参画し医師の立場から指導助言等を行なっている。</p> <p>各地の医師会と協力して、医師会員を対象とした種々の研修会に講師を派遣し、最新の研究成果や先端医療の経験、治療法の最新の評価等を医師会員に伝えている。</p> <p>市町村や公益団体等が一般住民を対象として行なう健康講和等の健康教育事业に対して、事業の内容にもっともふさわしい講師を派遣し、住民の疑問や不安に応えとともに最新の研究成果を分かりやすく住民等に説明している。</p> <p><b>感染制御地域ネットワーク</b></p> <p>本院が中心となり、平成 11 年より宮城県・東北地域の医療施設・行政機関を結ぶ感染制御地域ネットワークが発足した。現在、本ネットワークは我が国のモデルネットワークとして高い評価を受けており、200 施設を越える医療施設をはじめ、東北厚生局などの保健行政機関などが参加し、本院感染管理室・検査部のスタッフによる定期的な感染対策講習会の開催、地域版抗菌薬・消毒薬ガイドラインの作成、他施設に向いての感染対策ラウンドや薬剤耐性菌サーベイランスなどが実施されている。また、一般市民やメディア・マスコミへの感染症に関する情報提供（メディカル&amp;メディアワークショップの開催）や児童・父兄対象の「キッズかんせんセミナー」などを開催し、小学校や保育園への出前授業も実施している。さらに、本院感染管理室内に感染症相談窓口が開設され、東北地域全域から感染症診療や感染症対策に関するコンサルテーション業務が実施されている。加えて平成 18 年からは感染症危機管理に関する人材育成教育プログラムが開始され、地域における専門家育成計画の実施が具体化しようとしている。</p> <p><b>禁煙対策（敷地内禁煙実施病院連絡協議会）</b></p> <p>本院と近隣病院（NTT 東日本東北病院、東北厚生年金病院、東北労災病院、仙台市立病院、宮城県立こども病院）の禁煙対策担当者による各病院の禁煙対策の取組みの現状報告等を行い、病院周辺エリアを含め禁煙対策に取り組む予定。</p> |  |
|--|---|--|